校訓	自分を育て 自分を生かし 社会を明るく	令和2年度　学校だより 「天の子」 第14号	発行日	令和2年11月25日
教育目標	夢と誇りのある生徒の育成 ～自分の意志・判断で自ら責任をもち行動する態度を育てる～		発行者	伊丹市立天王寺川中学校 校長　前田 徳三

【トライやる】



「トライやる・ウィーク」は、中学２年生を対象に「地域の子どもは地域で育てる」との理念のもと、地域に学び、ともに生きる心、感謝の心を育む「心の教育」の推進と自律性を高めるなど「生きる力」の育成を目的に平成１０年度から実施されてきました。しかし、今年度は、コロナ禍のために各事業所において５日間の活動を行うことができません。そこで、中島ＰＴＡ会長様や大池津由美様（同協議会副会長兼本校ﾄﾗｲやる･ｳｨｰｸ推進協議会委員）らにご尽力いただき、宮崎康人様（桜台コミュニティ協議会会長）及び、杉本行廣様（鴻池小地区社会福祉協議会副会長）等、多くの地域や保護者のみなさまの協力を得て、１日のみですが校内及び素盞嗚神社、鴻池第二公園の清掃活動を行いました。



思春期にある中学生は、心身ともに大きく成長する時期で、将来に対する不安を抱えながらも将来の目的や目標を見いだす大切な時期です。この時期に、万全の感染症対策を行いながら、地域の大人たちとともに活動でき感謝の気持ちでいっぱいです。

また、今回、子どもたちは近隣の神社や公園を一生懸命に清掃活動しており、地域貢献活動も行え、ふるさとを大切にする心が持てたのではないでしょうか。ご協力いただきましたみなさま、本当にありがとうございました。今後とも、本校の教育活動にご支援・ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

【お手伝い】



まもなく師走、今年はコロナ禍のために年末年始は旅行や帰省をせずに、各ご家庭で過ごされる方が多いようです。また、師走になると「今年の汚れは今年のうちに」と大掃除をされるご家庭も多いと思います。

近年の研究調査によると、家事のお手伝いをする子どもほど自立心や思いやり、自信、責任感が強い傾向があるようです。また、家事手伝いの経験の多い子どもほど、「社会や人のためになる仕事がしたい」「なりたい職業や、やってみたい仕事がある」等の傾向が高いようです。このように、お手伝いはその後の心の成長に大きな影響を及ぼすことが分かっています。



子どもは、生まれてから、家庭ですべてのことをやってもらって当たり前の状態で育っています。しかし、いつまでも子どもを未熟だと思い、世話をし続けると子どもが他者のために何かをすることや何かをして感謝をされる機会を奪われ、

いつまでも未熟な子どものままでいる可能性が高いようです。
　部活動や習い事等で、子どもたちは忙しくしているとは思いますが、できるだけ子どもと一緒に家事をする機会やお手伝いをしてもらう機会を設けてください。そして、やって当たりまえではなく、やってくれた時は、「ありがとう、助かったよ」「やってもらえて、うれしかったよ」などと褒めたり、感謝の気持ちを伝えたりしてください。そのことによって、子どもの心の中に、人の役に立ちたい、感謝されたいという気持ちが育まれ、それを他者に対しても、心配りができるようになると思います。また、新型コロナウイルス感染症対策におきましても、家族全員でこまめな拭き掃除を心掛けていきましょう。

【中村憲剛（サッカー）選手が引退】



　先日、川崎フロンターレで活躍した中村憲剛選手が引退されました。中村選手は、175㎝、66kg で、子どもの頃から身体が細く、決して体格に恵まれた選手ではなかったようです。普通にやっていれば、他の選手たちに勝ち目がありません。体格面では、ハンディでありましたが、弱点を自覚したことから補って余りある強みを身につけられました。それは、周囲を見て情報を集め、賢いプレーを心掛けることでした。サッカーをはじめ、スポーツの世界では、よく「考えろ」と教えられます。そのためには、よいプレーを見ることが重要です。よいプレーを見て、自分のスタイルを考え、確立させ、反射的に動くまで実践されたようです。
　また、中村選手は、「プレー中に時々、すごいものが見えちゃうことがあります。」と言われたようです。「見る」が「見抜く」という域に達していたのだと思います。スポーツにしろ、勉強にしろ、よい結果を収めている人からどのようなプレー、どのような勉強方法をしているのか見抜くことが大切です。情報処理能力を身につけ、様々なアイデアを凝らし、自身がさらに向上できるよいヒントを考えることはすごく大切です。また、先日、ある会議にて、伊丹市教育長が、悩んだとき、迷ったとき、書物から『先人の考え』を学び、生かしていくことによって元気づけられる、新たなヒントを得るとおっしゃられました。自身が成長しよう、向上しようと常にアンテナをあげていくことから、実に多くのヒントを得られて向上すると思います。

【新型コロナウイルス感染症の対応】

　新型コロナウイルス感染者が連日過去最多を更新するなど感染が拡大しています。本校におきましては、随時、感染症対策委員会を開催して、可能な限りの感染症対策を図っています。伊丹市におきましても、令和２年１１月１９日に伊丹市長から感染リスクが高まる「５つの場面」に注意するよう要請されました。

①飲酒を伴う懇親会等、②大人数や長時間におよぶ飲食、③マスクなしでの会話（食事中の会話は慎む）④狭い空間での共同生活、⑤休憩室、（喫煙所）、更衣室等

　特に、飲食店を利用する場合は、家族や介助者等を除き「４人以下の単位」ごとになるようにご協力ください。マスクの着用、こまめな手洗い等の「新しい生活様式」に取り組んでください。また、暖房を使用する場合でもこまめな換気をはじめ、３密（密閉・密集・密接）の回避にご配慮をお願いいたします 。